

「ははのひ」



いまから 100 ねんまえの アメリカでの
おはなしです。

アンナさんは、きょうかいがっこうに
かよっている ちいさな おんなのこです。
きょうかいがっこうは こどもたちが
まいしゅう にちようびに きょうかいで
かみさまのおはなしを きいて さんびかを
うたい おいのりをするところです。

アンナさんのおかあさんである ジャービス
さんは きょうかいがっこうの せんせい
でした。



ジャービスさんは きょうかいがっこうの
こどもたちに おはなしを しました。
「わたしたちは あかちゃんのときに
おうちのかたに ごはんを たべさせて
いただいたり おようふくを きせて
いただいたり たくさん おせわを して
もらいました。それは あなたたちのことが
だいすきで だいに そだてたいと
おもったからです。このことを おぼえて
これからもすごしましょう。」



アンナさんは おかあさんジャービスさん
のおはなしを いつまでも わすれないで よく
おぼえていました。

アンナさんが おとなになってから
おかあさんの ジャービスさんが
なくなりました。アンナさんは なくなった
おかあさんに 「ありがとう」 のきもちを
つたえたいと かんがえるように になりました。

いちねんご、ジャービスさんのことを みんなで おもいだして おいのりをする ひが
きょうかいで ありました。



アンナさんは『おかあさんのことを おいのりする
ときに きょうかいに カーネーションをかざろう!』
と おもいつき しろいカーネーションの はなたば
を もっていきました。

その しろいカーネーションをみた おかあさんの
おともだちや おかあさんのことを していた
ひとたちが 「わたしたちにも その しろい
カーネーションを ください!」と いって みんな
で むねにつけました。そして ジャービスさんを
おもいだして かみさまに おいのりをしました。



それから なくなった おかあさんだけでなく
いきている おかあさんにも「ありがとう」という
かんしゃのきもちを こめて あかいカーネーション
を むねにつけて 「ははのひ」を まもるよう
になりました。それは とても よいことだと
1914ねんの アメリカで 5がつに 5にちの
にちようびを 「ははのひ」とする と決めました。

にほんの きょうかいでも 「ははのひ」を まもる
ようになり 100ねん ちかく たちます。

ことし 2020ねんの ははのひは 5がつ 10にちの にちようび でした。
じょうさいようちえんの おともだちは 5がつ 12にちに せんせいから とどいた
つくりものキットで ははのひの カードを かいて おかあさんに わたしたことでしょう。

ははのひ だけでなく これからも おうちのかたに 「ありがとう」の きもちを おつたえ
できますように。